

航空宇宙工学専攻 100 周年事業・海外渡航支援策（ソラびと基金）について

2020/10/30 作成

2024/05/23 更新

航空宇宙会・航空宇宙工学科・航空宇宙工学専攻

東京大学航空学科創設 100 周年記念として、世界に羽ばたく「ソラびと」を育てるべく、航空宇宙研究教育支援事業を行います。次の 100 年を牽引する優秀な学生および若手研究者の海外武者修行のために、渡航費や滞在費等を支給する基金を準備いたしました。自分自身で訪問先をアレンジして、海外の著名な研究室を訪問し自分の研究成果について発表を行い、各分野の一流の専門家からレビューを受けることで、研究へのモチベーションを高めることを目的としています。

- 対象者：専攻所属の学部生，大学院生若手研究者（助教）
- 対象内容：国際会議発表（ただし，会議参加だけでなく，関係研究機関等への訪問必須），短期留学，インターンシップ（休学して留学の場合も含める）
- 支援内容：エコノミークラス往復航空券代（国内・現地空港税，燃料サーチャージを含む），現地滞在費（宿泊代・日当）を支援する。学会参加費等その他参加にかかる費用については，工学系研究科で認められかつ総額 40 万円の上限の範囲であれば支援する。また，総額 40 万円を超える分は各自が支払うこと（各費用の支給額は学内規則等の定めるところによる）他機関等から経費が支払われている場合，足りない分の補填にも使用可能
- 募集：年に 2 回募集。
 - 上半期（4 月－9 月）出発の場合，12/31 締切（1 月中に採択決定）
 - 下半期（10 月－3 月）出発の場合，6/30 締切（7 月中に採択決定）
- 応募方法：氏名，学年，所属研究室，メールアドレス，渡航目的，渡航日程，渡航先研究室，期待される効果，資金計画を A4 用紙 4 枚程度に記載し，下記に送付する。
 - 航空宇宙会事務局
kokukai@office-aero.t.u-tokyo.ac.jp
- 選考方法：専攻教員が主体の選考委員会にて決定。
- 採択者：5 名程度／年（200 万円／年）
- 渡航報告：
 - 航空宇宙会総会（例年 6 月の土曜日の午後に開催）において，渡航の報告を行うこと。
 - 渡航後，速やかに報告書を航空宇宙会事務局に提出すること。
 - ◇ 報告書には，氏名，学年，タイトルを明記すること。
 - ◇ 報告書は，航空宇宙研究教育支援基金 (<https://utf.u-tokyo.ac.jp/project/pjt113>) の活動報告のページや航空宇宙会だよりに，氏名や学年の情報などと共に掲載される。東京大学，工学部・大学院工学系研究科，航空宇宙工学科・航空宇宙工学専攻の HP や出版物，広報活動等で使用される場合もある。
 - ◇ 報告書には渡航者本人の写真が含まれると望ましい。もし本人の写真の Web や出版物での公開を望まない場合は関連する風景の写真等でも構わない（本人の写真を報告書に掲載可能か否かは支援の採否には一切関係ない）